

2022年10月31日

インターナルカーボンプライシング制度を導入 ～低炭素投資により気候変動対策を推進～

江崎グリコ株式会社はこのほど、Glico グループの設備投資を対象に、インターナルカーボンプライシング（ICP）制度(*)を導入しました。二酸化炭素（CO₂）の排出量の増減を伴う設備投資計画について、設定した社内炭素価格を適用し、仮想的な費用に換算して、投資の判断基準のひとつとして運用します。ICP 制度の導入を通じて、低炭素投資や気候変動対策を推進します。

(*)ICP 制度：社内における炭素価格を設定し、CO₂排出量を費用換算することで、排出量削減に対する経済的インセンティブを創出し、社内で気候変動への対応を促す仕組み。

■ Glico グループの ICP 制度

<社内炭素価格> :63US ドル/t-CO₂（※導入時点）

<ICP 制度対象> :CO₂排出量の増減を伴う設備投資

<適用方法> :対象となる設備投資に伴う CO₂排出量に対し、社内炭素価格の適用により費用換算したものを、投資判断の参考とする。

当社は、「Glico グループ環境ビジョン 2050」を策定し、「気候変動への対応/温室効果ガスの削減」について、2050年に13年比で100%削減することを目標に掲げています。設備投資を行う判断基準のひとつとして、ICP 制度を活用し、低炭素投資や気候変動対策を推進します。